

【研究概要】

(新規課題)

骨の成熟に着目した新しい骨再生治療・骨折治療への試み

(医学部附属病院・歯科治療室・宮川和晃)

骨組織は肉眼的にみて外側は緻密な層板構造をもつ硬い皮質骨、内側は梁状構造を形成する柔らかい海綿骨に分けられる。この2層構造は普遍的であり、骨移植手術や骨折治療を受けた部位も最終的には海綿骨と皮質骨に分かれて治癒する。本研究は、求められている質の骨を人為的に作り出せる骨再生治療や骨折治療を目指すため、それぞれの骨の中に埋まっている骨細胞に注目し、皮質骨と海綿骨が全く構造の異なる理由を模索している。